

パブリックコメント 対応案

No	コメント内容	対応案
1	<p><一部省略></p> <p>古い家でも使い道がまだありそうならば、行政主導で地域で何か役立つことにならないか、地域住民の集まる場、例えば、高齢者の集まる場、子供が集まりこども食堂、子育て中の親子が集まる場、または障害者の作業場として、あるいは、若者たちが仕事場やお店にしたいなどあるかもしれない。まず空き家を見つけたら、行政が空き家の持ち主に介入して話し合いの突破口を作り、情報公開できれば、地域の地区役員、社協、民生委員、住民、みんなで考える組織を作る。民間だけではなかなか動かないと思うので手助けをしてほしい。地域住民の同士の結びつきが薄いといわれています。新しい施設をお金をかけなくても、地域にある空き家などの資源を手直しして利用したらいいと思います。それには空き家情報が見られるように発信してほしいです。</p> <p><一部省略></p> <p>空き家情報で閲覧でき、必要な人にその仲立ちを行政でしていただけたら嬉しいです。よろしくをお願いします。</p>	<p>柏市では、空家の情報を閲覧できるようにする方法として、「カシニワおうち」を整備し、運用しています。カシニワおうちは、空家を貸したい所有者、空家を使いたい利用者、双方の登録を受け付けており、「情報登録」、「応募」、「マッチング」ができるプラットフォームとなっています。</p> <p>空家の活用や情報公開については、所有者の方のご意向や判断が必要となるため、行政主導で物件を探して登録数を増やしていくのは難しい部分があります。今回、第2期空家等対策計画の改定にあたって、空家所有者に空家情報バンクの登録に関するアンケート調査を実施しました。その調査で登録に前向きな回答を頂いた方を対象とし、登録につながるよう働きかけを行ってまいります。</p> <p>また、ホームページ以外に広報やパンフレットの配布、事例紹介等を通じ、制度周知を引き続き行います。</p>